

日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニックを 受診された患者の皆さま

当院は下記の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを希望されない場合、下記にお問い合わせください。

研究課題名	摂食嚥下機能障害患者における介護者の栄養・食事に対するニーズに対応した栄養ケアの在り方に関する検討
当院の研究責任者(所属)	日本歯科大学大学院 生命歯学研究科 臨床口腔機能学 教授 菊谷 武 (口腔リハビリテーション多摩クリニック 院長)
他の研究機関および各施設の研究責任者	共立女子大学 家政学部 食物栄養学科 平澤 玲子
本研究の目的	摂食嚥下機能障害患者への食支援における調理担当者の負担感や食事提供の負担要因と患者の栄養状態の関連を検証し、摂食嚥下機能障害患者の栄養ケアに影響する介護者の要因を明らかにすることにより、摂食嚥下機能障害者に対する適切な栄養支援方法開発の一助とする。
調査データの該当期間	2020年1月～2021年3月
研究の方法(対象となる方)	上記期間内で外来受診された方 (介護者の負担感に関する回答者として要介護者およびその介護者を含む)
研究の方法(使用する情報)	この研究は、日本歯科大学生命歯学部倫理審査委員会および共立女子大学研究倫理審査委員会の承認を受け、日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニックの許可を受けて実施するものです。 これまでの診療の記録より性別、年齢、身長、体重、口腔機能評価、生活機能、調理担当者、調理担当者の負担感評価と負担要因、食事記録、栄養アセスメント、栄養摂取量評価、栄養指導内容を収集して行う研究です。尚、本研究の対象に該当する患者様にもたらされる不利益および危険性はありません。
試料/情報の他機関への提供	該当しません。
個人情報の取扱	使用する情報から氏名や住所等の対象者を特定できる個人情報は削除致します。 また研究成果は学会等で発表を予定しておりますが、その際も対象者を特定出来る個人情報は使用致しません。
研究期間中及び終了後のデータ等の保存・使用・廃棄の方針	研究期間中、電子データはフラッシュメモリ (USB 等)、または、光ディスク (CD 等) に保存し、資料等とあわせてそれぞれの研究実施場所において、鍵のかかる保管庫で厳重に保管します。終了後の解析データも同様に保管し、研究終了後 10 年間保管します。保管期間を過ぎた資料についてはシュレッター切断、フラッシュメモリ、光ディスクは切断、粉碎など物理的に破壊し、廃棄します。

研究成果の公表について	研究結果は、個人が特定できない形式で学会等で発表されます。
本研究の資金源(利益相反)	分担研究者教員研究費（共立女子大学）を使用します。 本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
費用負担、研究協力の対価	情報を研究に使用させていただくことに関して、別途ご負担をいただく費用、対価及び報酬は一切ありません。
研究から生じる知的財産権	研究の成果として知的財産権が生じる可能性があります、その権利は日本歯科大学、共立女子大学、あるいは研究者に帰属することになります。
お問い合わせ先	メールアドレス； ozeki-m@tky.ndu.ac.jp 担当者； 尾関麻衣子
備考	本研究へのご協力は任意です。 この研究のためにご自身（あるいはご家族）の診療情報を使用して欲しくない場合は主治医にお伝えいただくか、上記連絡先までご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。 なお、ご協力いただけない場合でも診療上の不利益を受けることはありません。不同意の患者様の情報は研究に使用しませんが、研究成果が論文や学会等で発表された場合は、同意を撤回されても論文や学会で発表された内容を取り下げることはできません。